仙台塩釜港高砂コンテナターミナル

脱炭素化の取組主体	主な取組内容
三陸運輸株式会社 NX仙台塩竈港運株式会社	低・脱炭素化ストラドルキャリアの導入
宮城県	港湾脱炭素化推進計画の策定
	インバータ制御方式のガントリークレーンの導入
	LED照明の導入
	ポートラジオ運用による港内混雑の緩和

[ターミナル概要]

東北唯一の国際拠点港湾である仙台塩釜港仙台港区の高砂コンテナターミナルは、ヤード面積約33ha、水深-12m及び-14m、岸壁総延長830mを備えるなど、東北地方の港湾におけるコンテナ貨物取扱量の約6割を担う、東北経済を支える重要な物流拠点となっています。

同ターミナルには、2026年3月に開設されたフィリピン航路を含め、現在5航路・8便（中国、韓国、ロシア、中国/韓国、フィリピン）の国際コンテナ定期航路が就航しているほか、7航路・10便の国内定期航路も運航されています。

「仙台塩釜港港湾脱炭素化推進計画」に基づき、高砂コンテナターミナルをはじめ港湾全体で、カーボンニュートラルの実現に向け、官民連携して取組を推進してまいります。

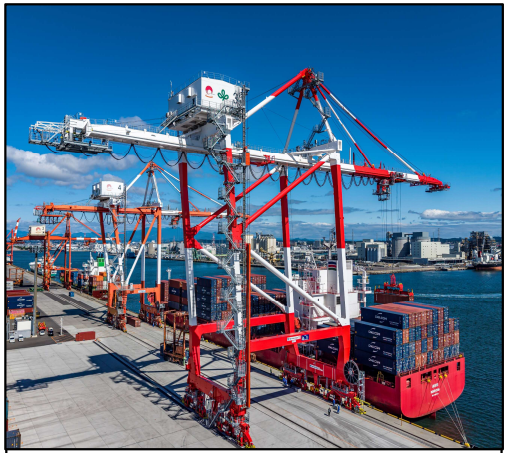
CNP Certification

認証レベル
Level 2+
(認証日 令和８年１１月２０日)

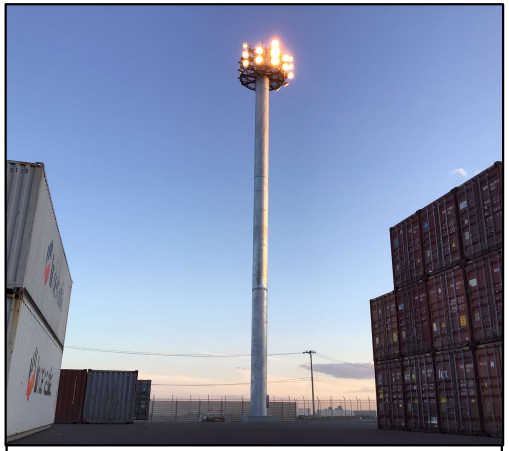
CO_2排出量原単位
16.49 kgs CO_2 / TEU



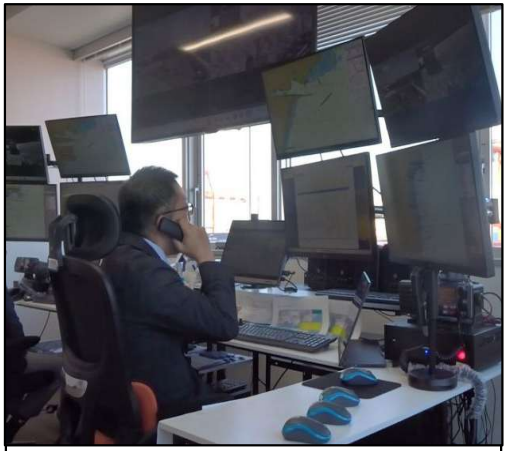
低・脱炭素化ストラドルキャリア



インバータ制御方式の
ガントリークレーン



ヤード照明のLED化



ポートラジオの運用状況